



種子島における人材育成の試み

鹿児島県立種子島高等学校
教諭 宇都鉄則

種子高は創立10周年を迎えました

2006.04 開校…旧種子島高・種子島実業高の統合

※ 西之表市唯一の高等学校となる

2015.11 創立10周年記念式典

学科構成(1学年4クラス)

普通科…2クラス

生物生産科…1クラス

電気科…1クラス



種子高生の置かれた環境

	学校外の環境	学校内の環境
プラス面	<p>[機会(Opportunity)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域との密接な繋がり ○「種子島ブランド」 <ul style="list-style-type: none"> □安納芋・広田遺跡など ○JAXAの存在 ○地域における新しい試み <ul style="list-style-type: none"> □「プラチナ社会」構想など ○以前より産学官連携の動き <ul style="list-style-type: none"> □生物生産科・放送部・生徒会など 	<p>[強み(Strength)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○素直に指導を受け入れる生徒 ○比較的高い学力「伸び率」 ○3学科それぞれの特長と連携 ○「動きやすい」指導環境 <ul style="list-style-type: none"> □クラス単位での指導可 □新しい試みへの迅速な対応 ○進学・就職両面からの視点 ○きめ細かな指導可能な環境
マイナス面	<p>[脅威(Threat)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○少子高齢社会と人口減少 ○地域産業再生への課題 ○離島であるが故のハンディキャップ ○卒業後の大幅な転出と経済的支援の必要性 	<p>[弱み(Weakness)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○思考力や表現力の向上余地大 ○本土の高校への進学者の存在 ○各方面に携わる生徒の多忙さ ○偏った進路意識 ○生徒数減少

生徒自ら環境を変えるための 生きる力を育む試みとして①

[重視して養成すべき能力]

- 1 幅広い視野と柔軟な思考
- 2 論理的思考力と表現力
- 3 適切な情報収集力と判断力

[[「グローバルリーダー」候補者の発掘]

※「グローバル」な視点を持ち、「ローカル」(地域)の再生・発展に貢献する人材

生徒自ら環境を変えるための 生きる力を育む試みとして②

【1年次での取組】(普通科)

◎「宇宙教育」…JAXAとの連携の試み

1 種子島の財産を活用

□講演会・宇宙センター訪問

2 文化祭での展示発表

□ポスター等での表現

□用意できる道具での表現



◎「プラチナ社会」講座への入口

2015. 03 講演会

□スマートエコアイランド構想の概要説明



生徒自ら環境を変えるための 生きる力を育む試みとして③

【2年次での取組①】(普通科)

◎6月～7月 プレゼンテーション基礎

- 進路学習を通し、得た情報を簡潔に表現
- 各グループの調査結果の共有化



生徒自ら環境を変えるための 生きる力を育む試みとして④

【2年次での取組②】(普通科文理コース)

◎7月～現在 「プラチナ社会」講座

- 7月 第1回 基礎的な視点と固定観念の破壊
- 9月 第2回 グルーピングと視野の拡大
- 12月 第3回 統計の活用と課題発見
- 1月 第4回 ロジカルシンキング
- 2月 新光糖業視察
- 3月 プレゼンテーション, ポスター・セッション



「プラチナ社会」構想を学ぶ魅力

1 種子島が「舞台」である

□島に居ながらにして最新の研究に触れることができる

2 「課題先進国」日本の中であって、さらに「課題先進地域」の種子島

□島の課題に向き合うことは日本や世界の課題に向き合うこと

3 島内から「イノベーション」を起こす人材を

□島内から「グローバルリーダー」を出す必要性

4 「産学官連携」による育成こそ視野の拡大に資する

□(例)「産」…新光糖業,「学」…各大学,「官」…西之表市

ご指導何卒よろしくお願い申し上げます

○2月から課題テーマを設定して調査開始

[6グループ]…今回のテーマ設定

□種子島の経済活性化

□地産地消で健康～魚を食べて人も街も元気に～

□「行ってみたい島」から「住みたい島」へ～観光のチカラ～

□バイオマスエネルギー

□少子高齢化

□サトウキビで資源循環

